



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4602S		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	吉田 正法		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 4		
講義室	1312	単位区分	必
授業形態	演習・ゼミナール	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■DPコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。</p> <p>DP2-B [自己の特性を理解し社会に貢献使用とする姿勢] 自己の存在意義を知り、自らを高め続けようと努力することができる。</p> <p>DP3-G [状況把握力・判断力] 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。</p> <p>DP4-F [探求力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する問・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP6-K [表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>DP7-C [他者理解・倫理観・公共心] 人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。</p> <p>DP7-L [協働力・牽引力] 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連携を強めることができる。</p> <p>DP8-M [省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。</p> <p>■CRコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示す共通ルーブリック (CR) との関連</p> <p>B1 自己啓発 (5%)</p> <p>C1 倫理的試行・社会認識 (5%)</p> <p>E1 学識と専門技能 (10%)</p> <p>F1 探求と論拠 (25%)</p> <p>G1 状況把握 (10%)</p> <p>I1 理解力・分析と読解 (5%)</p> <p>K1/2 ライティング・コミュニケーション、オーラル・コミュニケーション (10%)</p> <p>L1 チームワーク (20%)</p> <p>M1 統合的・応用的学修 (10%)</p>		
教員の実務経験	行政官として現状分析や政策提言の資料作成を指導した経験を踏まえ、危機管理に関する実務についての知識を提供したいと考えています。(第1回～第15回)		
成績ターゲット区分	<p>■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応</p> <p>3 発展期 ～ 4 定着期</p>		

科目概要・キーワード	<p>危機管理に関する専門的な問題解決のために必要な知識やスキルを身に付けるための指導を行います。学生個人のキャリア形成にもつながるよう、学生自身が危機管理に関する具体的な業務、資格などに関する専門的な研究を行い、実務教員が中心となり実践的な指導を行います。担当する実務教員が、自らの実務経験に基づいたテーマの科目を設定し、学生が自らのキャリア形成に役立つ科目を選択します。危機管理に関する知識や教養を養うだけでなく、危機管理において必須となるコーディネート、マネジメントに必要な調整能力を身に付けることを目標とします。ここでは、危機管理に関する実務についての知識を習得するための基礎的な指導を行います。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。</p> <p>■キーワード 危機管理、安全保障、軍事法</p>						
授業の趣旨	<p>■副題 危機管理の実務に必要な基礎的な知識を学びます。</p> <p>■授業の目的 安全保障・防衛問題への関心を高め、日本の安全保障・防衛を考える上で必要となる基礎知識を学びます。</p> <p>■授業のポイント ゼミナールⅠ・Ⅱでは、軍事法の発展に大きな影響を与えた戦争等の事例分析等により安全保障・防衛を歴史的な視点から学びます。ゼミナールⅠでの学びは、日本国憲法の下での日本の防衛政策・防衛法制の展開を学ぶゼミナールⅢの土台となります。</p>						
総合到達目標	<p>■軍事史・戦略論・軍事法の発展を理解し、安全保障・防衛に関するさまざまな事象について自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の国際秩序と現在起きている安全保障・防衛問題を説明できる（第2回、第3回、第5回～第7回、第10回～第14回） ・現代の国際法・軍事法の発展を説明できる（第9回、第15回） ・主要な戦略論・戦略思想を説明できる（第1回、第4回、第8回） 						
成績評価方法	<p>■授業参加度（60%）：適用ルーブリック C1・G1・L1 （評価の観点）発表、発言、質問、意見の交換など授業構築への参加度を評価します。（フィードバックの方法）授業の場でフィードバックします。</p> <p>■レポート（20%）：適用ルーブリック E1・F1・I1・J1・K1 （評価の観点）各回の予習ワークシートの内容を評価します（14回）。卒業研究の作成に向けて必要となるスキルが現段階で着実に向上しているかを評価します。（フィードバックの方法）提出にコメントを付して返却します。</p> <p>■実技・パフォーマンス（10%）：適用ルーブリック K2 （評価の観点）卒業研究を発表するのに必要となるスキルが現段階で着実に身に付いているかを評価します。（フィードバックの方法）発表に対してコメントをします。</p> <p>■ポートフォリオ（10%）：適用ルーブリック B1・M1 （評価の観点）学習の時間と内容等の「記録用紙」を回収し、適切な自宅学習がなされているかを評価します。（フィードバックの方法）提出へのコメント又は講評の配布を行います。</p>						
履修条件	安全保障・防衛問題に関心を持っている者が望ましいと考えられます。						
履修上の注意点	ポータルサイト等による連絡を定期的を確認して下さい。欠席する場合は事前に連絡を行って下さい。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="466 1585 517 1632">回</th> <th data-bbox="517 1585 1490 1632">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="466 1632 517 2033">1</td> <td data-bbox="517 1632 1490 2033"> ①授業テーマ 新兵器と新たな戦略について ②授業概要 第一次世界大戦で登場した新兵器により発展する戦略思想について説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるようにする。（B1・C1・E1・G1・I1・K1/2・L1・M1）担当教員の実経験を踏まえて指導します。 ③予習（120分） 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえようやく（予習ワークシート）を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。 ④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="466 2033 517 2154">2</td> <td data-bbox="517 2033 1490 2154"> ①授業テーマ 第二次世界大戦（大西洋戦線）について ②授業概要 </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ 新兵器と新たな戦略について ②授業概要 第一次世界大戦で登場した新兵器により発展する戦略思想について説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるようにする。（B1・C1・E1・G1・I1・K1/2・L1・M1）担当教員の実経験を踏まえて指導します。 ③予習（120分） 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえようやく（予習ワークシート）を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。 ④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。	2	①授業テーマ 第二次世界大戦（大西洋戦線）について ②授業概要
回	内容						
1	①授業テーマ 新兵器と新たな戦略について ②授業概要 第一次世界大戦で登場した新兵器により発展する戦略思想について説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるようにする。（B1・C1・E1・G1・I1・K1/2・L1・M1）担当教員の実経験を踏まえて指導します。 ③予習（120分） 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえようやく（予習ワークシート）を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。 ④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。						
2	①授業テーマ 第二次世界大戦（大西洋戦線）について ②授業概要						

	<p>第二次世界大戦（大西洋戦線）での欧米主要国の戦争指導について説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるができるようにする。（B1・C1・E1・F1・G1・I1・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえ要約（予習ワークシート）を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
3	<p>①授業テーマ 第二次世界大戦（太平洋戦線）について</p> <p>②授業概要 第二次世界大戦（太平洋戦線）での日米などの戦争指導について説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるができるようにする。（B1・C1・E1・F1・G1・I1・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえ要約（予習ワークシート）を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
4	<p>①授業テーマ リデルハートの間接的アプローチについて</p> <p>②授業概要 リデルハート及びフラーの戦略思想について説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるができるようにする。（B1・C1/E1・F1・G1・I1・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえ要約（予習ワークシート）を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
5	<p>①授業テーマ 第二次世界大戦後の国際秩序の構築について</p> <p>②授業概要 第二次世界大戦後の国際秩序の構築について説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるができるようにする。（B1・C1・E1・F1・G1・I1・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえ要約（予習ワークシート）を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
6	<p>①授業テーマ 冷戦（大西洋・地中海地域）について</p> <p>②授業概要 欧州における冷戦の進展について説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるができるようにする。（B1・C1・E1・F1・G1・I1・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえ要約（予習ワークシート）を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>

7	<p>①授業テーマ 冷戦（アジア・太平洋地域）について</p> <p>②授業概要 アジア・太平洋地域における冷戦の進展について説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるができるようにする。（B1・C1・E1・F1・G1・I1・K1/2・L1・M1）</p> <p>③予習（120分） 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえ要約（予習ワークシート）を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
8	<p>①授業テーマ 核戦略論と核不拡散体制について</p> <p>②授業概要 現在の安全保障秩序の中心となる核抑止体制について説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるができるようにする。（B1・C1・E1・F1・G1・I1・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえ要約（予習ワークシート）を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
9	<p>①授業テーマ 植民地解放闘争とイラン革命について</p> <p>②授業概要 植民地解放闘争とその結果としてのジュネーヴ追加議定書、また世界で初めてイスラム主義革命であるイラン革命について説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるができるようにする。（B1/C1・E1・F1・G1・I1・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえ要約（予習ワークシート）を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
10	<p>①授業テーマ 冷戦の終結について</p> <p>②授業概要 冷戦を終結させた要因について説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるができるようにする。（B1・C1・E1・F1・G1・I1・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえ要約（予習ワークシート）を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
11	<p>①授業テーマ 冷戦後の国際秩序について</p> <p>②授業概要 冷戦後の新秩序の構築とその結果について説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるができるようにする。（B1・C1・E1・F1・G1・I1・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえ要約（予習ワークシート）を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分）</p>

	<p>その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
12	<p>①授業テーマ テロとの戦いとグローバルな脅威について</p> <p>②授業概要 国際テロ組織・海賊との戦いについて説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるができるようにする。(B1・C1・E1・F1・G1・I1・K1/2・L1・M1)</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習(120分) 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえ要約(予習ワークシート)を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習(120分) その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
13	<p>①授業テーマ アラブの春とカラー革命について</p> <p>②授業概要 冷戦終結・テロとの戦いの後の新たなナショナリズムの動きについて説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるができるようにする。(B1・C1・E1・F1・G1・I1・K1/2・L1・M1)</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習(120分) 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえ要約(予習ワークシート)を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習(120分) その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
14	<p>①授業テーマ 大国間競争と新たな国際秩序について</p> <p>②授業概要 新たな大国間競争とその結果現在起きている諸問題について説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べできるようにする。(B1・C1・E1・F1・G1・I1・K1/2・L1・M1)</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習(120分) 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえ要約(予習ワークシート)を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習(120分) その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
15	<p>①授業テーマ 新領域をめぐる争いについて</p> <p>②授業概要 新領域をめぐる争いと国際法・軍事法上の課題について説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるができるようにする。(B1・C1・E1・F1・G1・I1・K1/2・L1・M1)</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習(120分) 参考書・参考文献を参照しつつ、論点を踏まえ要約(予習ワークシート)を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習(120分) その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
関連科目	ゼミナールⅠ(RMGT4601)、ゼミナールⅢ(RMGT4603)、ゼミナールⅣ(RMGT4604)
教科書	
参考書・参考URL	佐島直子『安全保障ってなんだろう』勁草書房、2011年、ISBN978-4-326-30202-4 ベイリス・ウィルツ・グレイ編『戦略論』勁草書房、2012年、ISBN978-4326302116 防衛大学校安全保障学研究会『安全保障学入門(新訂第5版)』亜紀書房、2018年、ISBN978-4750515434

連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に通知します。 ■オフィスアワー 開講時に通知します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント0%：パブリックセキュリティ10%：グローバルセキュリティ80%： 情報セキュリティ10% ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学80%：法学20%



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.